

令和3年度 教育サックス賞 受賞者一覧

No	個人名/団体名	受賞理由	内申校
1	イカラシ カズミ 五十嵐 一美	平成25年から9年間にわたり、生け花クラブ講師としてクラブ活動の指導を続けている。年間7回の活動において、季節の花や珍しい花を使いながら、児童の意欲を引き出し、活動の充実に努めている。また、児童から集める花材費を抑えるため、購入花だけでなく、自宅の花や自然の野草を毎回多数用意している。そして、保護者目線で、気さくに児童と関わりながら、生け花の魅力や奥深さを伝えている。残った花材等を使って、さりげなく玄関等に花を飾り、学校全体に潤いを与えている。	見附小
2	ナギ ノ ショウガッコウ 名木野小学校 クサナギオウエンダン 草薙応援団 ギャラリー隊 代表池嶋利喜夫ほか7名	名木野小学校児童の文化芸術に対する関心を高めるため、また、保護者や来校者へのもてなしの空間をつくるため、職員室前廊下に自作の絵画を展示している。年間2～3回、季節に応じて展示作品の交換を13年間継続している。 児童は、作品を自由に鑑賞し、一人でじっくりと絵画を見つめたり、筆使いや色の表現について友達と話し合ったりする姿を見せている。	名木野小
3	ナギ ノ ショウガッコウ 名木野小学校 クサナギオウエンダン 草薙応援団 ミマモ タイ 見守り隊 代表本田健吉ほか5名	名木野小学校児童の登下校時に、毎日、危険箇所道路横断の安全確保をしたり、付き添って同行したりしている。草薙応援団になってからも13年間継続しているが、それ以前から見守り隊として活動していた。当初活動していた方は高齢のため、引退している方もいる。 名木野小学校は、現在、毎月の児童下校予定表を渡し、協力を依頼している。 児童の安全を第一に、献身的に無償ボランティア活動を続けている。	名木野小
4	キタダニナンブ セイサンクミアイ 北谷南部生産組合 代表小出正道ほか7名	田井小学校では、20年以上にわたり、田植えや稲刈り等の稲作体験活動を実施している。これらの活動は、当初、地域の農業に従事する個人から協力を得て始めることができた。後に、個人の高齢化に伴い個人から個人へ引き継がれ、10年あまりが経過したと聞いている。 北谷南部生産組合が設立され、団体の目的の一つである「地域にある水田を守り、維持していくこと」と、児童が田植えや稲刈り等の体験を通して、稲作に親しみ水田への愛情を育むことは、合致するとして、平成20年から今日まで(14年間)、田井小学校の稲作体験活動への全面的な協力を続けている。田植え、稲刈りだけでなく、育苗、栽培、水管理、脱穀等を行っている。 現在、農業の状況は様変わりしている。田井小学校を取り囲む地域の農業も大規模化し、家庭で稲作を行ったり体験したりできる児童は非常に少ない。環境や食料などSDGsにも幅広く関わる稲作体験活動を毎年、実施できるのは、北谷南部生産組合が中心となり地域の協力体制を築き、継続した取組を行ってきたおかげであり、その貢献度は非常に大きい。	田井小

令和3年度 教育サックス賞 受賞者一覧

No	個人名/団体名	受賞理由	内申校
5	サノ フサエ 佐野 フサエ	<p>学校の教育活動を支える「team上北：農援隊」のメンバーの一員として、平成24年度から令和3年の現在まで10年間、学校田の田植え、稲刈り、脱穀、堆肥づくり等の「総合的な学習の時間」における農園活動全般の教育活動に支援をいただいている。稲の藁を用いた「とば編み」の技術に優れ、堆肥づくりの際に用いる「とば」作りでは、中心的立場として子どもたちに指導していただいた。</p> <p>また、平成24年度から子どもたちの登下校の安全を見守る「team上北：安全パトロール隊」にも所属し、子どもたちの登下校を10年間見守っていただいている。所属当初は、バスで通学している本明町の児童を、バス停まで送り届ける等、見守り活動に積極的に参加していただいた。現在は、自宅付近で、子どもたちの安全な登下校を支えていただいている。</p>	上北谷小
6	シンボ ユウヤ 真保 祐弥	<p>陸上競技部顧問として他の指導者と協力しながら熱心に指導し、<u>県大会男子3000m、北信越大会男子1500mで優勝する選手を育成した。</u>また、女子の駅伝では、<u>県大会出場を果たした。</u></p>	南中 教員 陸上部 顧問 2年目
7	ハリト タカユキ 張戸 隆行	<p>陸上競技部外部顧問として他の指導者と協力しながら熱心に指導し、<u>県大会男子3000m、北信越大会男子1500mで優勝する選手を育成した。</u>また、女子の駅伝では、<u>県大会出場を果たした。</u></p>	南中 部活動外 部顧問 3年目